仏教学部禅学科2018年度カリキュラム　卒業必要単位：124

教育研究上の目的ならびに学位授与の方針

仏教学部は、本学の教育の理念に基づいて定められた下記の5つの能力を身につけ、所定の期間在学し、学部が定める所定の単位を修めた学生に対して卒業を認定し、学位を授与する。
(DP1)禅学の理念を実践するだ(理解、関心、意欲、態度、主体性)
仏教の教えと禅の精神に基づき、自分をより高める自己形成と学問研究を密接に関連して行うことができるとする勉導大学の学生としてのアイデンティティを備えている。
(DP2)多様性理解と尊重(知識、理解、関心、意欲、態度、主体性、多様性、協働性)
人文、社会、自然、ライフデザイン、様々な異言語・異文化に関する多角的な知識と深い教養と専門分野の知識を体系的に身につけ、国内外の多様な文化・価値観の違いを理解し、他者を尊重することができる。
(DP3)情報分析力と問題解決力(技能、思考力、判断力、表現力)
多様な情報を収集・分析して適正に判断・思考する力を身につけ、状況に応じてICT(情報通信技術)をモラルに則り効果的に活用し、問題発見や問題解決に関がるアイデアを出すことができる。
(DP4)コミュニケーション能力(技能、思考力、表現力、主体性、多様性、協働性)
他分野にも通ずる基本的な研究方法を学び、レポート・小論文等の文章読解・作成能力およびプレゼンテーション技術を身につけ、それによって研究・考察した結果を、他者にわかりやすく発表できる。
(DP5)専門分野の知識・技能の活用力(知識、技能、思考力、判断力、表現力、主体性、多様性、協働性)
体系的に修得した仏教や禅の知識や実技を、実際に直面する状況・課題に対して臨機応変に活用し、現代社会が抱える様々な問題の解決に寄与するとともに、地域社会、国際社会、産業界の発展へ主体的に貢献することができる。

教育課程の編成方針

教養に触まり、広くアジアの広域に展開した仏教の各領域の体系的知識や研究方法を身につけながら、次第に具体的な問題意識や課題をもって、主体的な学習・研究活動を継続して行えるよう教育課程を編成する。仏教・禅の教養や実践的意義、歴史的歴史的展開および社会・文化に与えた影響などを多角的視野から学び、広汎な視点に立脚し、様々な仏教の思想や文化を修得し、それぞれが興味を持った分野について、より深く研究していくとともに、その学びの中で得た仏教の考え方や生き方を現代用たしなかも、その後の豊かな人生を実現することが出来るよう教育する。また、教育課程においては、自らの身心をかえりみ、誤った思い込みなどに陥ることのないように、決まりや守った常識を深い、自ら探求して物事の本質を明らかにする資質を育てるべく、
1. 教育内容
1)仏教の教えと禅の精神について理解を深め、宗教に対する正しい認識を身につけることを目的とした「仏教と人間」を必修科目として開講する。また、「金禅」で、自ら坐禅を実習することによって、その意義と実践方法を身につける。
2)高校までの学びから大学の学びへの転換を図り、自立的で自主的な学習態度を身につけることを目的とした科目「新入生セミナー」を初年次に開講する。
3)実践スキル教育として1年次に「仏教学セミナー」を、2年次に「基礎演習」を開講し、社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力を身につけるとともに、仏教や禅を研究し実践するための基礎的な教育を行う。
4)人文、社会、自然、ライフデザイン、外国語、健康・スポーツの分野において、多角的な知識と深い教養を体系的に身につけられるように科目を配置する。
5)専門教育科目では、仏教や禅を学ぶとその基礎・基本となる導入教育科目を初年次に配置し、そこから専門分野の知識を体系的に理解する講義科目、自らの知的好奇心を追求し、これまでに修得した知識を実践する演習科目、修得した知識を実践する実習科目を配置し、卒業年次に学びの集大成として卒業論文を作成する
6)　曹洞宗の僧籍を有する学生は、僧侵として修めるべき基礎教育科目を履修することができる。
2. 教育方法
1)1、2年次は、禅学科・仏教学科の区別はない。専門研究への導入として、仏教や禅の基礎知識を修得する宗教教育科目と、未知の領域・環境への対応やコミュニケーション手段に関するための教養教育科目・外国語科目を開修することで、建学の理念を理解し、幅広く豊かな教養を身につける。仏教の各領域の体系的知識を修得しながら、その後の研究の基礎となる語学や、仏教および禅の研究方法を修得する。2年次には、曹洞宗の宗旨の根幹に位置づけられた坐禅を必修科目として実習する。
2)演習・実習科目、及び新入生セミナー、仏教学セミナーにおいては、アクティブ・ラーニングを取り入れた教育を行う。大人数にならやすい講義科目においても、可能な限りアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行う。
3)3年次に、禅学科と仏教学科の学科分けが行われる。それぞれの学科において、さらに専門的な自らの研究課題を持ち、必修科目である演習Ⅱを中心に、より専門的・主体的な研究を行う。4年次には、演習Ⅱを継続しより深める演習Ⅲと、卒業論文を必修とする。演習科目（ゼミ）では、事前に準備説明会や担当教員による選抜を実施し、原則として少人数制の下、担当教員による手厚い指導を行う。
4)ラーニングシステム等のmoodleシステムを活用することで、学生が授業時間以外に主体的に学修する時間を増やし、担当教員と学生の密接なコミュニケーションを図し、学んだ知識の理解を深め、単位の実質化を図る。
5)基礎的な必修科目や複数開講されている同一名称の科目（演習を除く）では、ルーブリックを用いて成績評価の観点と成績評価基準を明確にし、科目の成績評価基準の標準化を行うことで、成績評価の公平性、客観性、厳格性を高める。
6)学生調査・アンケートや学修成果を測定するアセスメント・テストの結果に基づく客観的な評価指標によって全学的な検証を行い、検証結果を教育内容や教育方法の改善へ随時的に活用し、学生へのフィードバックを行う。
3. 評価
1)入学生に対しては、入学前教育（対象者のみ）として、仏教や禅に対する関心を持ち、基礎教養を身につけてもらうために、仏教学部で指定する推薦図書の中から必ず選び読書感想文を提出してもらい、添削・評価している。
2)在学生に対しては、各種修科目の各種試験による評価（GPA評価等）により学修成果の評価・測定を行い、取得単位数によって進級制限を設け、学生への反省と奮起を促している。
3)卒業生に対しては、学びの集大成として卒業論文の作成を課し、学修成果の評価・測定を行っている。

入学者受け入れ方針

入学志望者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）
仏教学部では、専門分野の体系的な知識、それらを応用する技能、主体的かつ協調的なコミュニケーション能力、多様性を理解し他者と協働する力、情報分析力と問題解決力を身につけた上で、より専門的にその分野の知識・能力を深めるため、禅学科・仏教学科に学科分けせず入学者選抜を行い、3年次進級時において、学科を選択する方式をとっている。
仏教学部では、この前提において、受験生を適正かつ公正に選抜するために、多面的・総合的な視点による多様な入学者選抜を行う。
1. 仏教学部の求める学生像
(AP1) 仏教学部では、広い視野に立ちながら多くの関係文献を同定し読解していく基本的な学習態度が継続的に求められる。そのため、高校でのすべての科目を十分習得し、日常的な学習の習慣が身についている学生を求めている。
(AP2) 仏教や禅を学ぶ上で有効な能力に関する各種検定の資格取得者、および曹洞宗の僧籍を有する人を対象に「特性評価型」の入試を実施する。高校時代に得た各種資格における能力を積極的に活かし、また曹洞宗僧侵として生涯にわたって禅および仏教の修学をつづける意欲ある学生を求めている。
(AP3) 仏教学部のカリキュラムを修得するとっ必要な国語・外国語・歴史に対して、十分な基礎能力を有し、また、与えられた課題に対し、自分の視点や意見を論理的に表現できる文章力・コミュニケーション能力等を有しており、大学生活に適応できる思考力、コミュニケーション能力を有して、周囲の人々と豊かな人間関係を構築できる学生を求めている。
(AP4) 仏教学部では、あらゆる分野をカバーする教員から、仏教や禅の歴史や思想を体系的に学ぶことのできるカリキュラムを設けている。また、仏教や禅に関する最大な図書を所蔵する図書館や、禅に関する文資料を保管し紹介する禅文化歴史博物館を設けて、仏教や禅に興味のある学生を受け入れる充分な態勢を整え、仏教や禅に関心を持ち、学習・研究する意欲を持つ学生を求めている。

・配当年次が1つの科目は必ずその年次に履修すること。2つの科目は、下の表の順序で履修することが望ましい。(順序は例であって、必ずこの順序でなければならないというものではない)
・「初級」「上級」の別がある科目は、「初級」→「上級」の順で履修することが望ましい。(「初級」を履修せず「上級」を登録することはシステム上可能であるが、現実的には履修・単位修得は困難である)
・「仏教史」「思想史」については、まず「仏教史」を履修し、次に「思想史」に進むことが望ましい。
・「禅宗史」については、「中国禅宗史」→「日本禅宗史」の順で履修することが望ましい。
・教職課程・資格講座を履修する者は、資格取得のために必要な科目と卒業必要科目との関係に注意して履修すること。
*履修上の疑問の点や相談したい点があれば、オフィスアワー担当教員、新入生セミナー・仏教学セミナー担当教員に遠慮なく相談してほしい。

科目分類		1年次前期	DP(1～5)	1年次後期	DP(1～5)	2年次前期	DP(1～5)	2年次後期	DP(1～5)	3年次前期	DP(1～5)	3年次後期	DP(1～5)	4年次前期	DP(1～5)	4年次後期	DP(1～5)
専門教育科目：84単位		(4～8)				(4～8)				(4～8)				(4～8)			
■必修:40	専門発展(12)	●日用経典(4)			1･2･3･5	●漢詩作法(4)			1･2･3･5	●坐禅Ⅱ(4)			1･2･3･5				
●選択必修:32		●仏教文化史(4)			2121157800	●仏教文献学(4)			2121175600	●仏典講読Ⅰ(4)			2133076700	●法式実習			1･5
●選択:12		●禅文化史(4)			2121175610	●仏教と社会(4)			2121175210	●仏典講読Ⅱ(4)			2123176410				2123179300
		●インド仏教思想史(4)			2121122610	●哲学概説(4)			2111148700	●仏典講読Ⅲ(4)			2123176510				
		●中国仏教思想史(4)			2141007900	●宗教法規(4)			2131090100	●仏教研究A(4)			2123176610				
		●日本仏教思想史(4)			2141141700	●新宗教概説(4)			2131099800	●仏教研究B(4)			2123174010				
					2141165410	●心理学概論Ⅰ(2)	2･3･5	3231100420 ●心理学概論Ⅱ(2)	2･3･5	●仏教研究C(4)			2123174020				
													2123174030				
	専門応用(32)					●書道(4)			1･2･3･5								
						●禅思想(4)			2411098600								
						●原始仏教(4)			2121056300								
						●イスラム教概論(4)			2131100000								
						●キリスト教概論(4)			2131004700								
						●真宗学概論(4)			2131044800								
						●日蓮教学概論(4)			2121099600								
						●浄土学概論(4)			2131158000								
						●真言学概論(4)			2121108900								
						●禅心理学(4)			2121099600								
						●仏教民俗学(4)			3231125800								
						●青少年問題研究(4)			2121175710								
						●チベット語上級(4)			3231117500								
						●サンスクリット語上級(4)			2311372200								
						●パーリ語上級(4)			2311076100								
						●禅美術(4)			2311168500								
						●宗教哲学(4)			2411126500								
						●宗教哲学(4)			3311089200								
						●禅学特講Ⅰ A(2)	1･2･3･5	2121125410 ●禅学特講Ⅱ B(2)	2131090000								
						●禅学特講Ⅰ B(2)		2121125510 ●禅学特講Ⅳ B(2)	1･2･3･5								
						●仏教特講Ⅰ A(2)		2121256110 ●仏教特講Ⅱ B(2)	2121125701								
						●仏教特講Ⅲ A(2)		2121174710 ●仏教特講Ⅳ B(2)	2121174810								
								2121174910	2121175010								
										選択必修(4)							
										(4～8)				(4～8)			
										◆禅学研究A(4)			1･2･3･5	2123125110			
										◆禅学研究B(4)				2123125120			
										◆禅学研究C(4)				2123125130			
										◆宗教学研究(4)				2133089110			
										◆仏教美術研究(4)				2433175430			
										◆禅路講読Ⅰ(4)				2123126010			
										◆禅路講読Ⅱ(4)				2123126110			
										◆禅路講読Ⅲ(4)				2123126210			
										◆漢文講読Ⅰ(4)				2243023820			
										◆英文仏書講読(4)				2123015310			
						選択必修(4)											
						(4～8)				(4～8)							
						◆漢文講読Ⅰ(4)			1･2･3･5								
						◆パーリ語初級(4)			2241023810								
						◆サンスクリット語初級(4)			2311168410								
						◆チベット語初級(4)			2311076010								
						◆宗教史(4)			2311137110								
						◆仏教美術史(4)			2121089410								
						◆インド哲学史(4)			2421175410								
						◆中国哲学史(4)			2121007710								
									2121141410								
						選択必修(12)											
		(4～8)				(4)											
		◆インド仏教史(4)			1･2･3･5	◆東南アジア仏教史(4)			1･2･3･5								
		◆中国仏教史(4)			2121007800	◆チベット仏教史(4)			2121150310								
		◆日本仏教史(4)			2121141600	◆韓国仏教史(4)			2121137300								
		◆中国禅宗史(4)			2121164900	◆日本禅宗史(4)			2121022960								
					2121141300				2121164700								
	専門演習・卒業論文(12)									■演習Ⅰ(4)			1･2･3･4･5	2023016400	■演習Ⅱ(4)		1･2･3･4･5 / 2023016500
															■卒業論文(8)		1･2･3･4･5 / 2023131600
	専門基礎(40)	■仏教学入門(4)			1･2･3･4･5	■宗典(4)			1･2･3･5	■禅思想概説(4)			1･2･3･5	2143125710			
		■仏教漢文入門(4)			2121173620	■坐禅Ⅰ(4)			1･5								
					2121173410	■宗教学概論(4)			2131076700								
		仏教学セミナー(2)			1･2･3･4･5				1･2･3･5								
					2121040350				2131089100								
	外国語教育(8)	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語Ⅰ Aaのいづれか1科目(1) 英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語Ⅰ Baのいづれか1科目(1)	2･3･4		2･3･4	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語Ⅰ Abのいづれか1科目(1) 英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語Ⅰ Bbのいづれか1科目(1)	2･3･4	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語Ⅱ Aaのいづれか1科目(1) 英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語Ⅱ Bbのいづれか1科目(1)	2･3･4								
	教養教育（人文・社会・自然・ライフデザイン(16)	新入生セミナー(2)	1･2･3･4			基礎演習(4)			1･2･3･4･5								
		人文・社会・自然・ライフデザイン分野(2)	1･2･3･4･5	人文・社会・自然・ライフデザイン分野(2)	1･2･3･4･5												
		人文・社会・自然分野(4)			1･2･3･4･5												
		仏教と人間(4)			1･2･3･5												
広域選択12単位		各科目区分の卒業必要単位数を超えて修得した単位															
履修モデル単位数巡		20～22科目　48単位				11～14科目　40～46単位				5～8科目　20～32単位				4～6科目　20～28単位			
履修制限単位数		49単位				49単位				49単位				49単位			